

令和7年度

# チャレンジスポーツ in ぎふ 実施要項

## 1 趣 旨

仲間と仲よく運動することを通して運動することの楽しさや記録向上の喜びを味わわせ、主体的に運動に親しむ習慣を培い、児童生徒の体力の向上を図る。

2 主 催 岐阜県教育委員会

## 3 実施方法

(1) 対 象 県内の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の児童生徒

(2) 期 間 令和7年7月1日(火)～令和8年1月30日(金)午後5時まで

### (3) 参加部門

<小学校・義務教育学校(前期課程)>

- ① 1年生の部      ② 2年生の部      ③ 3年生の部      ④ 4年生の部  
⑤ 5年生の部      ⑥ 6年生の部      ⑦ 異学年縦割りの部

<その他の校種>

- ⑧ 中学校・義務教育学校(後期課程)の部      ⑨ 高等学校の部  
⑩ 特別支援学級・特別支援学校の部

### (4) 種目

- ① 8の字縄跳びⅠ(失敗しないで連続で何回跳べたか)  
② 8の字縄跳びⅡ(3分間で何回跳べたか)  
③ 8の字縄跳びⅢ(1回に2人ずつ跳び、失敗しないで連続で何回跳べたか)  
④ チームジャンプⅠ(失敗しないで連続で何回跳べたか)  
⑤ チームジャンプⅡ(5分間で何回跳べたか)  
⑥ ボールパスラリーⅠ(キャッチボール:3分間で何回キャッチボールができたか)  
⑦ ボールパスラリーⅡ(チェストパス:3分間で何回チェストパスができたか)  
⑧ ボールパスラリーⅢ(バレーボールパス:失敗しないで連続で何回パスができたか)  
⑨ 握力  
⑩ 上体起こし  
⑪ 長座体前屈  
⑫ 反復横とび  
⑬ 20mシャトルラン  
⑭ 持久走  
⑮ 50m走  
⑯ 立ち幅とび  
⑰ ソフトボール投げ

○ 学級の新体力テストの1学期と他学期の平均記録の差がどれだけあるか。

- ・チャレンジinぎふ 体力数値の伸び平均シートを活用し、1学期の記録と他学期に行った記録を入力し、それぞれの平均値を出します。
- ・その後、チャレンジポ登録画面から1回目の平均値を登録。そして、2回の平均値を登録すると平均の差が表示されその記録を競い合います。



(5) 参加人数

- 8の字縄跳びⅠ・Ⅱ・Ⅲ・・・回し手を含めて6人以上
- チームジャンプⅠ・Ⅱ・・・回し手を含めて12人以上
- ボールパスラリーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・・・6人以上

新体力テスト種目・・・・・・・・・・学級単位（複式学級は、同学年の平均記録で登録）

＜8の字縄跳び・チームジャンプ・ボールパスラリーについて＞

- ・ 学年や学級、縦割りグループなど、校内の取組単位でチームを編制する。
- ・ 複数学年や縦割りグループなど、学年が異なる児童生徒で編制したチームについては、最上級生の学年の部門で登録する。
- ・ 「8の字縄跳びⅠ・Ⅱ・Ⅲ」及び「ボールパスラリーⅠ・Ⅱ・Ⅲ」については、上記の規定人数が構成できない小規模校及び特別支援学級、特別支援学校は、人数に関係なくチームとして参加できる。

※使用するボールは、ルールに準じたものを使用する。ボールパスラリーⅠの投球ラインは、学年が一番低い児童生徒に適用される距離とする。

(6) 参加方法

- ① はじめに、「チャレンジスポーツ in ぎふ」ホームページにおいて参加登録し、IDとパスワードを取得する。  
 ☆ **入力は、学校間総合ネットに接続されたパソコンで行う。**  
 ☆ アドレス <http://webe.gifu-net.ed.jp/SPORTS/index.php>
- ② 取組後、チームの記録を入力する。記録を更新した場合は、その都度上記ホームページから入力する。

(7) ルール

- ① 教職員が見ているところで出た記録を正式記録とする。
- ② 小学校・義務教育学校（前期課程）1～4年生の縄跳び種目の回し手は、教職員でもよい。  
 ※複数学年でチームを構成し、5・6年生が入っても人数が不足する小規模小学校及び義務教育学校（前期課程）においては、回し手を教職員が行ってもよい。ただし、チーム名を入力する欄に、「チーム名（回し手：教職員）」と記載する。
- ③ 8の字縄跳びⅠ・Ⅲでは、縄が空回りをした場合は連続と認めない。
- ④ 8の字縄跳びⅠ・Ⅱ・Ⅲ及びチームジャンプⅠ・Ⅱでは、失敗した時点の回数は含まない。
- ⑤ 縄跳びの縄の長さや手袋の使用などについては自由とする。
- ⑥ ボールパスラリーの向かい合う距離及び使用するボールは、下記のとおりとする。
  - ・ ボールパスラリーⅠ（キャッチボール）
    - 距離：5m（小・義務教育学校1，2年）
    - 7m（小・義務教育学校3，4年）
    - 9m（小・義務教育学校5，6年、中・義務教育学校、高等学校）
    - ボール：ドッチボール2号または3号
  - ・ ボールパスラリーⅡ（チェストパス）
    - 距離：3m（小・義務教育学校）
    - 4m（中・義務教育学校、高等学校）
    - ボール：ドッチボール3号またはバスケットボール5号（小・義務教育学校）
    - バスケットボール6号（中・義務教育学校）
    - バスケットボール6号または7号（高等学校）



- ・ボールパスラリーⅢ（バレーボールパス）  
 距離：2m（小学校、中学校、義務教育学校）  
 3m（高等学校）  
 ボール：ソフトバレーボール、バレーボールなど

⑦ 新体力テスト種目は、「新体力テスト実施要項（スポーツ庁）」に準拠する。

#### （8）表彰

- ① チャレンジ期間の最終日午後5時の記録で、各種目、各学年の上位5チームを表彰する。
- ② 異学年縦割りの部で取り組んだチームについては、縄跳びの部門において上位5チームを表彰する。

#### （9）異学年縦割りの部の表彰条件

- ① 全校児童が120人未満の小規模校である。
- ② 低学年・中学年・高学年の児童が同一チームとして参加している。
- ③ 6年生に記録を入力しチーム名の初めに【縦割り】と入力している。

#### 4 その他

- ・記録の登録や更新は、原則、教職員が行う。**※インターネットにつながる端末から入力可能**
- ・参加した学校は、別紙「認定証」を活用して、記録等の認定を行ってよい。
- ・記録の登録に際しては、本事業の趣旨を鑑み、**意図的に最終日の記録の登録を行わないようにする。**
- ・令和8年1月30日（金）午後5時以降の記録の登録及び更新等は、いかなる理由があっても受け付けない。

